

いま、「飛鳥」が
よみがえる

飛鳥 かし かし

早川和子原画展

2017年1月24日(火) - 3月20日(月・祝)

- 会場 奈良文化財研究所 飛鳥資料館 特別展示室
- 開館時間 9:00~16:30(入館は16:00まで)
- 休館日 月曜日 ただし3月20日(月・祝)は開館
- 入館料 一般270円(170円)・大学生130円(60円) ()内は団体料金
高校生及び18歳未満、65歳以上(年齢のわかるものが必要)は無料
- お問い合わせ 奈良県高市郡明日香村奥山601
TEL 0744-54-3561
飛鳥資料館公式HP <https://www.nabunken.go.jp/asuka/>

主催：独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館・明日香村教育委員会
後援：文化庁・近畿日本鉄道株式会社・朝日新聞社
ロゴデザイン：朝日新聞社



図録を購入すれば、似顔絵を描いてもらえるかも!?

ギャラリートーク (事前申し込み不要)

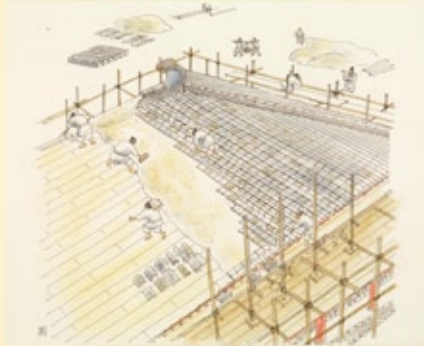
復元画家の早川和子さんによる生解説

- 3月12日(日) 午前の部 10:30~ 午後の部 13:30~
- 3月18日(土) 午前の部 10:30~ 午後の部 13:30~

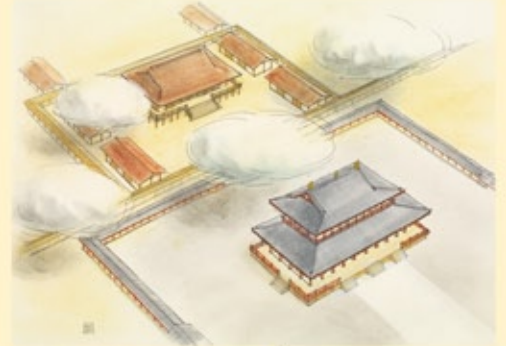


飛鳥むかしむかし

早川和子原画展



飛鳥寺造営当時の瓦葺き



藤原宮の大極殿と内裏

人の動きが見える!

本当に瓦を葺くときと同じ順序で、イラストでも屋根の下から上へと瓦が描かれています。作業をしている人の声が聞こえてきそうです。

本展覧会の中心となるのは、朝日新聞奈良版の連載「飛鳥むかしむかし」の挿絵に使われたイラスト原画です。この連載は、2013年4月から2016年3月までの約3年間、116回にわたって続きました。「飛鳥むかしむかし」は、飛鳥・藤原を舞台に繰り広げられた日本国誕生の歴史を研究者が多角的に解説したもので、挿絵のイラストは復元画家の早川和子さんによって描かれました。

早川さんの復元画は、単なる想像図ではありません。執筆担当者と早川さんが何度も打ち合わせを重ね、発掘調査の成果や出土遺物、文献資料などから可能な限り復元の根拠を探し出し、それを絵に盛りこみました。もちろん構図やシチュエーション、人々の表情や動作には、早川さんの遊び心が満ちあふれ、そのイラストからは、人々の笑い声や、飛鳥に吹きわたる風の音まで聞こえてきそうです。

展示では、「飛鳥むかしむかし」に掲載されたイラストのカラー原画と、新たに描かれたイラストを多数ご覧いただけます。この冬は、飛鳥資料館で、早川和子さんの復元画の世界をお楽しみください。

※本展覧会では、会場の都合により「飛鳥むかしむかし」で使用されたすべての作品は展示できませんが、展覧会図録にはすべての作品をカラーで掲載します。

最新成果を反映!

2015年の発掘調査で大極殿南面には3つの階段があったことがわかりました。その調査結果を反映させるため、完成していたイラストの階段部分が描き直されました。



石舞台古墳の造墓



飛鳥大仏の制作

復元画家 早川和子さん



1953年宮崎県生まれ。アニメスタジオ・マッドハウスで「元祖天才バカボン」「ギャートルズ」などの動画を担当。発掘事務所でのアルバイトを経て、考古学の復元イラストを描くようになる。朝日新聞奈良版の連載「飛鳥むかしむかし」では、すべての挿絵を担当した。

ギャラリートーク (事前申し込み不要)

早川和子さんが、復元画の制作秘話などをお話します。

- ◆ 第1回 3月12日(日) 午前の部 10:30~
午後の部 13:30~
- ◆ 第2回 3月18日(土) 午前の部 10:30~
午後の部 13:30~

【交通案内】

- 近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅から
かめバス(周遊)「飛鳥資料館」下車
- 近鉄・JR桜井駅から
石舞台行きバスで「飛鳥資料館」下車
- 近鉄大和八木駅から(土・日・祝日のみ)
橿原市コミュニティバスで「飛鳥資料館」下車

【駐車場】

無料(普通車11台) 近くに有料駐車場あり

【お問い合わせ】

奈良県高市郡明日香村奥山601
TEL 0744-54-3561

飛鳥資料館公式HP

<https://www.nabunken.go.jp/asuka/>

奈良文化財研究所 **飛鳥資料館**

